

今回は奥武蔵丘陵の**歴史ロマン散策**というテーマです。

西部池袋線・東吾野駅に14名が集まりました。なんだか参加した方の顔を見ると全員ロマンチストに見えてくるのは、私の気のせいでしょうか。

東吾野駅から沢沿いに咲く白梅の花と香りに浸りながら、福德寺（阿弥陀堂は国指定重要文化財）を通り、花の咲く里山の集落**ユガテ**に着きます。ここの開けた明るい平地で小休止をとり、その後民家の間を通り抜け山道を行います。今日の登山道はアップダウンと平坦な尾根道の繰り返しです。十二曲（我々は、武蔵坊弁慶ほどアゴは出しませんでした）先の一本杉展望所近辺で昼食タイムです。今日は天気が良いのですが、風が冷たく感じられます。

昼食をほどほどに切り上げ雨乞い神事の行われた越上（**おがみ**）山に向います。急登の後、岩場をへて山頂で一休み、皆でにぎやかに記念撮影です。この我々のワイワイさ（だいたい一日中です）を見て、静かに食事をしていたご夫婦の奥様が一言「楽しそうね」

下山途中にある社で我々は拝み（**おがみ**）、やがて諏訪神社をへて**顔振峠**に到着です。

白や赤の梅の花が、竹林を前景にみごとに咲き誇っています。紅色の河津桜も今や満開と他を圧しています。あまりの美しさに鎌倉を追われて平泉へ下る義経が何度も顔を振りかえったという伝説のあるこの峠は桃源境でしょうか。

ここで我々は自由行動の解散となりました。さあて本日3万歩も歩いた皆さんは歴史ロマンと里山に咲き乱れるお花を充分堪能したでしょうか。

